

- DiagPrintout 取扱説明書 -

診断レポート作成の流れ

1. 1. ご使用される診断機の時計設定を「設定」から確認します。

2. 2. 事前にパソコンへ仮想 PDF プリンターをインストールします。

※Windows 10 からは仮想 PDF プリンター「Microsoft Print to PDF」が標準装備されていますので、インストールは必要ありません。

仮想 PDF プリンターをインストールしておくことにより PDF として保存（出力）することができます。

検索サイトで「仮想 pdf プリンター」などで検索していただくと無料の仮想 PDF プリンターがいくつか検索されますので、目的にあったソフトをインストールしてください。

例) CubePDF 等

SSS-αII・SSS-T2 には 2 つの「DiagPrintout」機能を搭載しています。本説明書は一般整備及びスキャンツール補助金申請提出用のレポート発行手順を示しております。

エーミングやカスタマイズ機能を使用した際のレポート発行を行う場合は、「DiagPrintout2」をご利用ください。

使用方法に関しては別途、DiagPrintout2 マニュアルをご覧ください。

3. 3. 診断を行ない診断結果を保存します。

4. 4. 診断機本体をパソコンに接続します。

5. 5. 手順書を参考に PDF ファイルを作成してください。

■重要■

印刷時に仮想 PDF プリンターで出力することにより、PDF として保存（出力）できます。
仮想 PDF プリンターがインストールされていないパソコンをご使用の場合は、
検索サイトで「仮想 pdf プリンター」などで検索していただくと無料の仮想 PDF プリンターがいくつか
検索されますので、目的にあったソフトを事前にインストールしてください。

診断レポート印刷イメージ

【愛車診断レポート】

お客様名 : ○○ ○○	車種 : ○○○
メーカー : ○○○	車台番号 : XXXXXXXXXX
登録番号 : ○○ ○○○ ○ ○○-○○	診断日 : 2018/07/24
車両型式 : XXX-XXXXX	

診断結果 :

システム	故障コード	内容
エンジン	29EB00	EGR 冷却、妥当性：排ガス再循環クーラー バイパス フラップの故障、またはクーラー効率低下する
フューエルポンプ	なし	
トランスミッション	なし	
ギヤセレクタースイッチ	なし	
ABS/DSC	なし	
電動パワステ	なし	
統合シャーン	482791	予測アシスタント: ナビゲーション データに異常あり
	D014F6	KOMBI インターフェース(走行距離/走行可能距離、276.48) : 信号は無効
	D016E1	メーター パネル インターフェース (走行ダイナミクス表示ステータス、97.12) : 信号は無効
エアバッグ	なし	
インストルメント	なし	
A/C	なし	
アラウンドビューカメラ	CAACO1	KOMBI インターフェース(走行距離/航続距離、0x330) : 信号が無効
カメラアシスト	なし	
FEM	8040B7	ターミナル 15 のオフ : 始動性能上限値に達した
	8040B9	ターミナル 30B のオフ : 始動性能上限値に達した
FEM	なし	
運転席シート	なし	
タッチボックス	なし	
コントローラー	なし	
OC/HU+H	なし	
ビデオモジュール	なし	
TCB	なし	
ゲートウェイ	なし	

○○自動車
担当者 : ○○ ○○
〒×××-×××
○○県○○市○○町××-×
TEL : ×××-×××-×××× / FAX : ×××-×××-××××
メール : ×××@×××.×××
使用テスト : FA1 31-000000

車両情報

診断日は診断機本体設定の日付が反映されます。
レポート作成前に必ず確認してください。

診断結果

自社情報

1. 基本操作

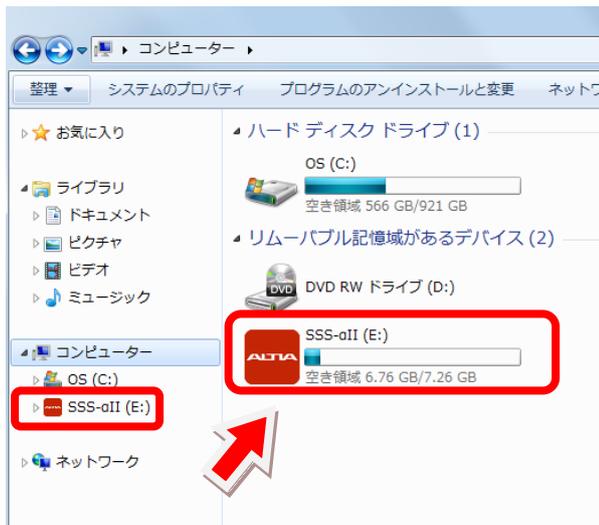


「DiagPrintout」ソフトは本体内の「DiagPrintout」フォルダに収録されております。

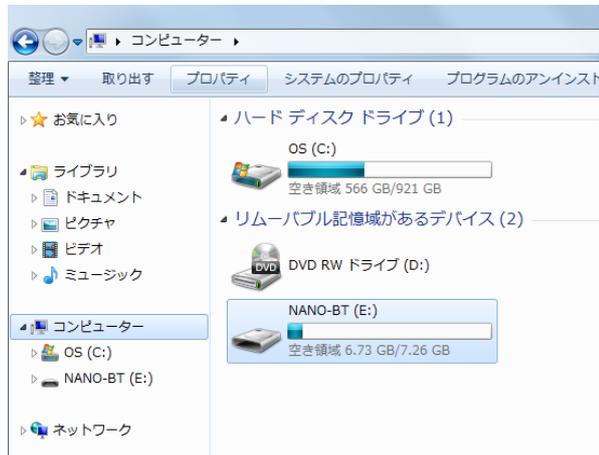
1 DiagPrintout の起動

1. 本体をパソコンに接続して該当のドライブをクリックします。
ドライブはコンピューター内に表示されます。

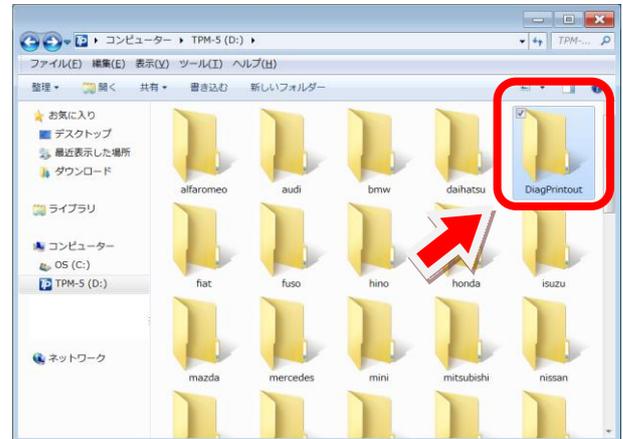
【SSS-αIIの場合】SSS-αII (E:)を選択



【SSS-T2の場合】NANO-BT(E:)を選択



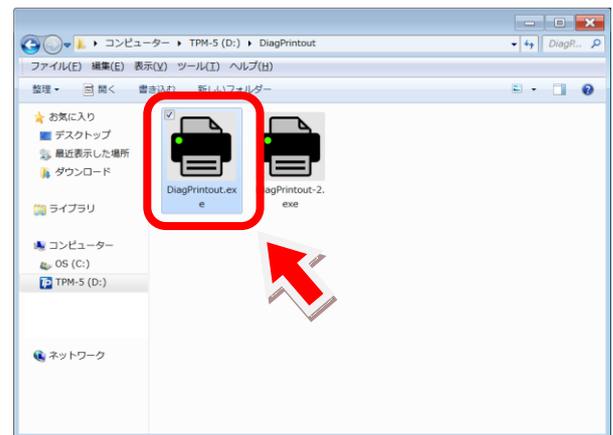
2. 該当のドライブをダブルクリックで選択後、「DiagPrintout」をダブルクリックして開きます。



3. 「DiagPrintout」をダブルクリックして起動します。

【DiagPrintout】
一般整備及びスキャンツール補助金申請提出
レポート発行

【DiagPrintout2】
エーミングやカスタマイズ機能を使用した際の
レポート発行
⇒DiagPrintout2 に関しては別途、
DiagPrintout2 マニュアルをご覧ください。



4.

ホーム画面が表示されます。

2 自社情報登録

1.

「自社情報」をクリックします。

2.

入力欄に必要事項を入力して「OK」をクリックします。

※ファイル名 Companyinfo.cix で保存されます。
 ※「使用テスト」欄には交付申請時のコード番号や
 本体シリアル番号を入力してください。

3 車両情報登録

1.

車両情報を入力します。

2.

入力欄に必要事項を入力して「保存」をクリックします。

3.

ファイルの保存先は任意の場所で問題ございません。
 本体内の「DiagPrintout」フォルダなど分かり易い
 場所を指定してください。

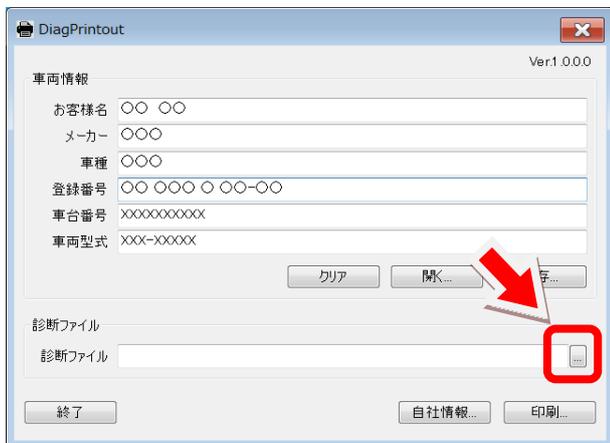
任意の**ファイル名を入力して**「保存」ボタンを押して
 保存します。

※「ファイル名.vix」ファイルで保存されます。

4 診断ファイルの選択

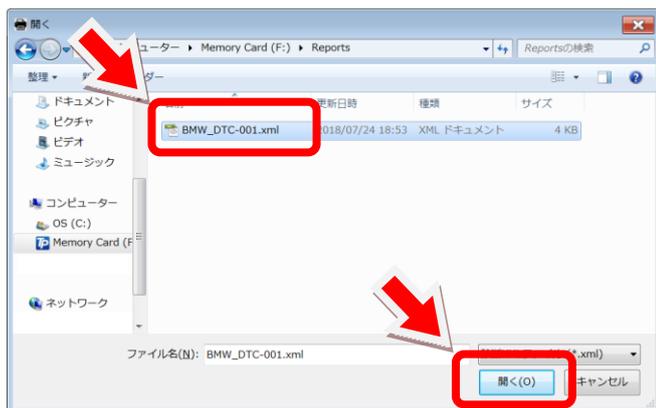
1.

「診断ファイル」の右端のボタンをクリックして診断機で保存した診断ファイル（自己診断結果を保存したXMLファイル）を開きます。



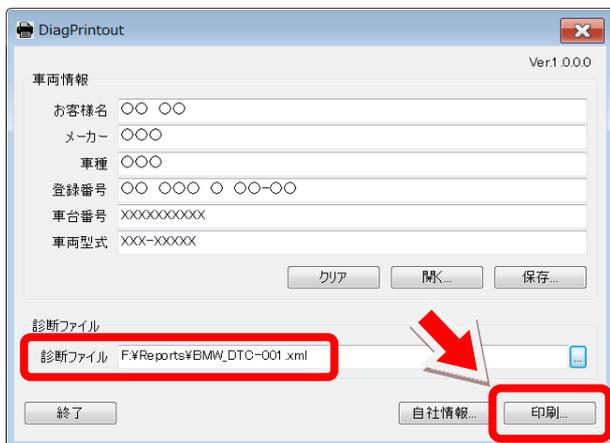
2.

「診断ファイル」は本体内の「Reports」フォルダに保存されているXMLファイルです。該当するファイルを選択して開きます。



3.

診断ファイルが読み込まれました。診断ファイルの内容は「診断レポート印刷イメージ」の診断結果に反映されます。「印刷」をクリックします。



4.

印刷ダイアログが表示されます。「プリンター名」のタブをクリックして事前にインストールされたpdfプリンターを選択し「OK」をクリックします。（例：doPDF v7の場合）



5.

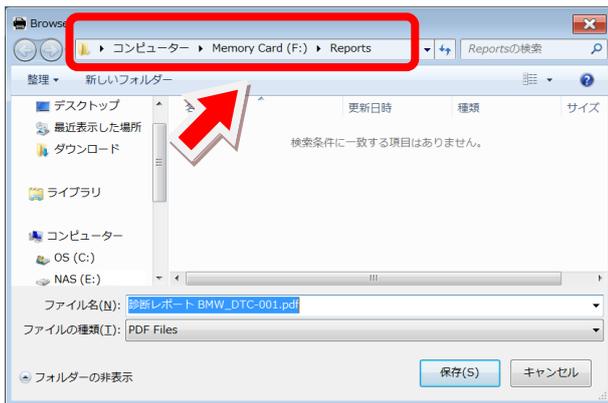
PDFファイルの保存画面が表示されます。

通常は「ドキュメント」や「ダウンロード」などが保存先に指定されていますが、保存先を変更する場合は「参照」をクリックして保存先を指定します。



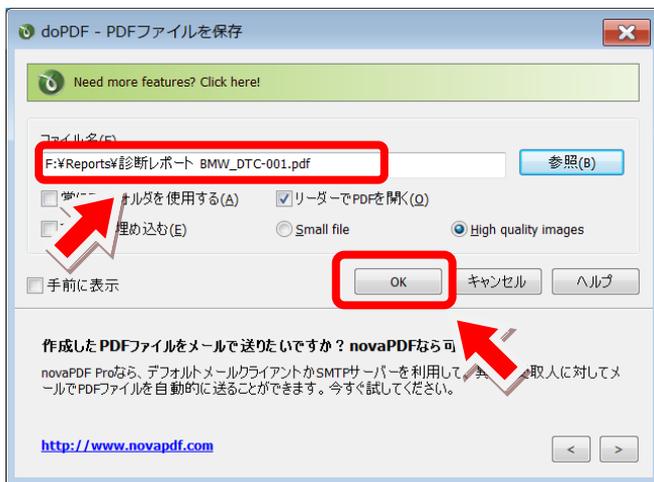
6.

保存場所、ファイル名を確認して「保存」ボタンをクリックします。



7.

手順 6 で指定した保存場所、ファイル名になっていることを確認して「OK」をクリックします。



8.

手順 6 で指定した保存場所に PDF 形式のファイルが保存されます。

